

## ニホン、インターナショナル様式

# 白木屋の建築と設備

白木屋の建築に關してイシモト、キクハル氏は曰く  
『一人の人間が二人に働き、二日の仕事を一日にこなすのみ』  
と、實に晝夜兼行の異常なる緊張を以てせざればあれ丈の工事を、あれだけ短期間に仕上げる事は出来ない。

石本氏が獨創的の設計を實地の工事に思ふ存分發揮するゝには現場工事の擔當者がまた如何に努力したであらう。工事請負者清水組當事者の一經驗にも多大の參考があらうと思はれる。本號には白木屋當事者が發表した所謂石本工學士の獨創的の設計の概要を傳ふるに留めた。

白木屋の建築は石本建築士の獨創に成るもので我國現代建築界に一大衝動を起した最も特異な且つ進歩せるものであります。即ち祭祠寺院に發達せる「ルネツサンス」又は「ゴシック」様式の從來の建物が嚴格なる氣持を抱かしめるに反し、今回の白木屋の建物は一見如何にも自由であり社交的であり何人に對しても親しみを有せしむる民衆的のものであります。

### 外 觀

今之を少しく詳細に説明すれば先づ形の均衡其物が有する優美なる構成美を以て人に接し殊更に裝飾を全く付てをらぬ事が特徴であり、又縦柱を感ぜしめないこゝろ硝子の多いこゝろは一の偉觀であります。且平面上に於て交叉點際を大圓となし何等の曲折を造らざる大膽さを示して居ります。日本橋寄には三連の大「アーチ」あり見れば楯形に區切られた十六ヶ所の硝子大窓があり、其窓の延長は各階を區分しながら最上部に至つて全建築を統一して居るのであります。百貨店として主要部たる「ショウインドウ」は日本橋から平松町通りへかけて大膽に開放的に展開されて居ります。又屋上の時計塔は數千の玻璃を以て固められ地上百八十尺の櫓及ラヂオ塔が時計塔の右端に聳立つたのも氣持の餘裕さを表はしたものであります。

遠望には凹凸を以て軟か味を出し近づけば外面主要部にある幾何學的「レリーフ」の面白さを以て、一見平坦無表想のやうであるながら實は複雑な美觀を呈して居ります。又大ショウキンドウ上の胴蛇腹は莊重な暗青色を呈し建物全體を十分支持し、日本橋側の三連の「大アーチ」及胴蛇腹は靜かな暗青磁色に造られ其の外大部分は落着いたクリーム色を以て被はれて居ります。

### 内 容

三連の「大アーチ」の内部には雄大なる「ボーチ」があり、其前面は入口を別にして全部「ショウキンドウ」になつて居ります。正面大理石階段は一二階吹抜の大ホールの中央にあり、其左右の創作的意匠になれる燦爛たる「キングポスト」に挟まれて居ります。

ホールを圍む六太柱は伊太利「マーブル」を袴し、上部は眩き黄金の「レリーフ」を以てし、二階ホール欄杆及ホール天井蛇腹も又金色燦然として居ります。正面踊場の上は豊かなる「ステインドグラス」にて飾つて居る等、限りなき美觀と莊嚴さを具へさせてあります。

古來有名なる白木名水は第二階階段の前に「モダニスピリット」を盛れる井戸側の中に堰へられ、第二地下室より第一地下室に上げば公衆的な第二食堂及理髮室があり、又健康相談所のある二階から三階に行けば純國風